

取組の成果を次年度へ繋ぐ 全国で意思統一

～林野労組 第20回定期全国大会～

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野労組連労働組合
九州地方本部
(電) 096-354-1150

発行者 加来尚貴
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

9月1日～各分会大会
9月6日～7日
共済推進会議

9月20日 第3回
役員推薦委員会

9月25日 九州地方林退会総会
10月12日 全国共済理事會
10月18日 全国代表者會議

匠の腕

「大迫力の花火！」

(撮影者 和智愛加里：鹿児島分会)



「匠の一言」
宿舎から撮った鹿児島サマーナイト花火大会の写真！

7月27日、東京都・連合会館において、全国林野関連労働組合第20回定期全国大会が開催され、九州地本からは分会を代表して参加した鹿児島分会の江口代議員を含め、代議員5名、傍聴2名が参加しました。



連携を呼びかける挨拶

九州代議員発言要旨

▼中川代議員▲

○林道維持修繕の予算に関する事項について
冒頭、中村中央本部執行委員長は「日頃からの取組に感謝申し上げる。1月に発生した能登半島地震については、被災された方にお見舞い申し上げる。復興においても遅れが生じており、人員を削減してきたし寄せが来ている。今後も公務労協と連携し、改善していかなければならない」との挨拶の後、世界情勢において、ロシアのウクライナへの侵攻は続いており、武力では解決しない、対話による解決を強く求めていかなければならないことや、政治情勢においては、政府与党と対峙していく



林道維持修繕の予算について、梅雨により

事が重要であり、国会対策の取組を強化していく必要があること、また、外国人材の受け入れに係る方針等の各種課題、国有林野事業関連における森林吸収源対策、要員問題、人員削減問題、組織態勢の確立に向けた話があり、組織態勢強化をお願いしたいとの挨拶がありました。続いて、執行部から「2023年度経過と総括、2023年度決算報告、会計監査報告、2024年度運動方針(案)、2024年度予算(案)」が提案され、質疑・討論が行われました。

質疑討論では、一般林政と国有林野事業の推進に係る取組、生命と健康を守る取組、生活を守る取組、組織態勢確立など多岐にわたった意見が出され(九

▼古村代議員▲



局署における要員不足の状況は危機的な状況となっている。森林官の級の切り下げにも歯止めがからず、2023年度から2級森林官となったポストが九州では8ポストあり、現在、その全てが事務取扱で森林官は空席となっている。交渉はしているが、要員不足の中、当局は配置すら出来ない。

また、現場管理機能でも、事業実行体制でも慢性的な要員不足に起因する労働過重が進んでおり、危機的な状況と言わざるを得ない。し寄せが組合員にきており、大きな不満が蓄積している状況となっている。

将来的な労使合意に基づく要

州地本代議員発言詳細は別掲)、提案された議案は満場一致で可決・承認されました。承認の前



心に響いた木下青女委員の発言

に、中央の青女役員として参加していた九州地本の木下常任委員の傍聴発言も行われ、会場からは大きな拍手が送られました。

搬出可能な木材の資源量も実際は乏しく、現場も奥地化が進み、林業事業体も多くの仕事を抱え、入札も不活となってきている状況の中、現場の声も聞かず一方的に、毎年、増え続ける収穫量と生産量に追われ、現場は疲弊している。そのことの大きな要因は、この債務返済にある。

三分期年平均370億円を返済する期間に入っているが、昨年末の林政審で、収穫量の今後の見通しなどを踏まえた「新たな試算」が示され、当初の計画どおり、2048年度までに返済終了を見込むことが可能とされている状況である。その条件として、収穫量の見直しは、2019年度に対して130%程度の量が前提とされている。これまでの全国議論で、九州からは債務返済計画を見直すべしと意見を述べているが、今後の返済見通しが示されたことは一定の成果であると考え、当初の計画どおり返済が可能となっている内容には、不満を抱いている。現場の資源量や要員状況、林野庁は把握しても、なおかつ、返済可能という認識を持つているのか。仮にそうであれば、誤った認識と言わざるを得ない。



パリオリンピックが開催され、日本はこれまでの大会で最多となるメダルを獲得したとのこと。引き続きパリオリンピックが行われているので、こちらも頑張ってもらいたいところだ。今回初のオリンピック競技となったのが「ブレイキン」である。欧米が発祥であり、もともとストリートで行われており、オリンピック競技にまでなるといったことは昔では考えられなかったのではないかと。スケートボードも同様であるが、時代が進化したとも言える。だが、判定で物議があった点もあり、技だけではいかに必要であるなど、ルールの明確化も必要ということも分かった。時代は合ったやり方を取り入れ、新たなルールの明確化を行う。政治の世界でも政権与党はこれが出来なければブレイクした方がよいかもしれない。

(SUKU)

九州代議員発言要旨

歌野代議員

○離島への自家用車の搬入に伴う運搬費用の取り扱いについて



九州局においては、離島を多く抱えており、

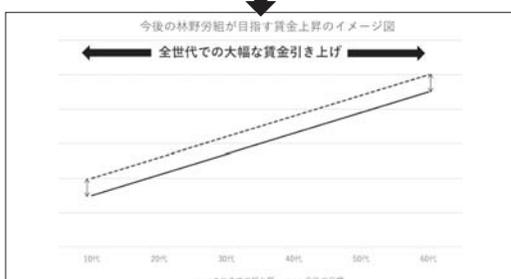
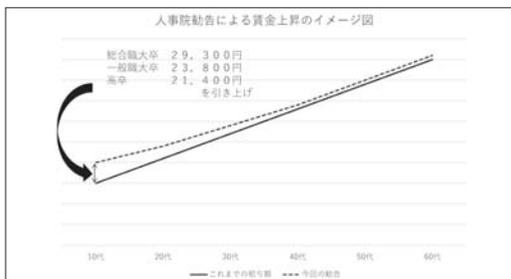
該当する署や事務所から多くの組合員よりオルグや地本大会にて意見が出されているため実情を踏まえ発言する。離島へ異動

人事院へ要求書提出

7月4日、福岡市において国公連合による人事院への要求書提出が行われ、林野労組からは加来執行委員が参加しました。

林野労組としては、退職手当のピーク時特例における、不利益の解消や、山上手当の要件拡大を要求書に記載しました。要求書を提出後、様々な課題について発言の機会が設けられ、「物価上昇による実質賃金の低下」「地域手当」「通勤者手当の改善」「級別定数の改善」「要員不足」等を発言しました。

これらの交渉の後に出された8月の人事院勧告の内容は次のとおりとなりました。「若年層に重きを置いた月例給の昨年を上回る引き上げ（下図のとおり）」「一時金0.1ヶ月の引き上げ」「通勤手当の引き上げ」「地域手当の異動3年目の補償」「子どもの扶養手当の引き上げ」「再任用職員の異動に伴う手当の拡大」「子の看護休暇の要件



加来代議員

○組織態勢強化について



現在、全国的に組織態勢強化を目標として取り組みに力を入れており、今年2月には組織化対策会議が行われた。しかし、全国的にも新規採用者加入率については伸び

人吉球磨地協・労福協「列島グリーンキャンペーン」全線開通を願う人吉駅奉仕作業

【熊本南部分会・三浦通信員】郡市の労働組合や事業所などから約130名が集まり、被災したJR肥薩線の全線開通を願う、人吉駅構内において除草作業に汗を流しました。



復興に向け汗だくで作業

ろうきんでNISAをはじめよう！

NISAとは？ 投資信託から生じる譲渡益や分配益が非課税になる制度です！積立投資なら初心者の方でも少額から始めることができます

Comparison of tax rates: 20.315% vs 0% when using NISA.

最近、NISAを始められた九州森林管理局お勤めのKさんにインタビューをしてみました！！

- Q1. NISAを始めようと思ったきっかけ
Q2. ろうきんを選んだ理由
Q3. NISAで運用したお金の使い道

執行委員長 歌野 邦美
副執行委員長(会計) 山口 利明



新執行部体制で更なる取組の強化を

あのことんこん

「日田を照らす超新星」

梶原 奈央さん(大分西部分会)



元気な笑顔でみんなを元気づける！！

今回は、大分西部分会から「梶原(かじはら) 奈央さん」を紹介いたします！
梶原さんは長崎県松浦市出身で、大分短期大学を卒業後、今年度新規採用で大分西部分会に配属されました。今年21歳

各地で分会大会始まる

屋久島分会は8月23日、屋久島森林管理署会議室において、第20回分会定期大会を開催し、19名中、19名の全組合員が参加しました。

書記長(青年女性) 木崎 慎一
執行委員(共済) 松井 涼太
執行委員 塩澤 翔

記事を募集しています!!
分会で開催したいろんなイベントや会議、地域の集会等の記事を募集していますので、教宣担当のメールアドレスへ投稿をお願いします。
E-mail sinrin14-kaku@siren.ocn.ne.jp
(教宣担当)

